

小学5年生 算数 解答・採点基準

満点：100点 | 確定済みの問題に対応

1 整数の性質〔各3点・12点〕

(1) 0、12、28 (2) 1、2、3、6、9、18

(3) 6 (4) 24

(1)(2)は完全正答方式。過不足なく答えれば各3点。抜けや誤った数の追加は0点。
順序は問いません。0も偶数であること、約数に1とその数自身を含むことを確認します。

2 分数の表し方と大きさ〔各3点・12点〕

(1) $\frac{3}{4}$ (2) $<$ (3) $\frac{3}{5}$ (4) $\frac{3}{8}$

(1)(3)は、大きさは正しいが約分が未完了の場合は2点。
(2)は、分母を12にそろえて比べられます。

3 分数の計算〔各4点・16点〕

(1) $\frac{4}{12} + \frac{3}{12} = \frac{7}{12}$

(2) $\frac{5}{6} - \frac{2}{6} = \frac{3}{6} = \frac{1}{2}$

(3) $\frac{9}{24} + \frac{10}{24} = \frac{19}{24}$

(4) $\frac{26}{12} - \frac{9}{12} = \frac{17}{12}$ (または $1\frac{5}{12}$)

各問：正答4点 / 約分だけ未完了3点 / 正しい通分がある誤答2点 / その他0点。

正答なら途中式がなくても満点です。部分点は重複加算しません。

(2)で計算後の約分、(4)で帯分数からの引き算を確認します。

4 生活の中の問題〔各5点・10点〕

(1) 午前9時36分

12の倍数：12、24、36…… 18の倍数：18、36……

最小公倍数が36なので、午前9時の36分後。

配点：次に重なる間隔が36分と分かる考え方3点、時・分の数値1点、

午前を含む時刻の表記1点。「午前9時36分」「9時36分（午前）」などを認めます。

(2) 12人

24と36の最大公約数は12。24÷12=2、36÷12=3なので、

12人にえんぴつ2本ずつ、消しゴム3個ずつ配れます。

配点：最大公約数を求める、または条件を満たす最大の人数を調べる考え方3点、

数値12に1点、単位「人」に1点。

「最小公倍数」「最大公約数」という用語がなくても、数の書き出しなどで考え方が示されていれば認めます。

5 分数を使う文章題〔6点〕

$$1\frac{1}{2} - \frac{2}{3} - \frac{1}{4} = \frac{18}{12} - \frac{8}{12} - \frac{3}{12} = \frac{7}{12} \text{ L}$$

立式2点。計算は正答3点、約分だけ未完了2点、正しい通分まで確認できる誤答1点。

答えの単位Lに1点。先に使った量を足してから引く方法も認めます。

6 平均〔各5点・10点〕

(1) 3個 $(4+0+3+2+6) \div 5 = 3$

立式3点、数値3に1点、単位「個」に1点。0個の回も回数に含めます。

「15÷5」も正しい式として認めます。

(2) 500g $125 \times 4 = 500$

立式3点、数値500に1点、単位gに1点。

7 単位量あたりの大きさ〔10点〕

(1) A : $12 \div 6 = 2$ (1m^2 あたり2匹) B : $20 \div 8 = 2.5$ (1m^2 あたり2.5匹)

各2点 (立式1点、数値1点)。単位は解答欄に印字しているため追加記入は不要。

(2) Bの小屋。 1m^2 あたりの数がAは2匹、Bは2.5匹で、Bのほうが多いから。

Bの選択2点、 1m^2 あたりの数値の正しい比較2点、多いほどこんでいるという説明2点。

上の短い説明で満点。「20匹のほうが12匹より多いから」だけでは理由の4点は不可。

(1) に計算誤りがあっても、同じ面積あたりの数が多いほどこんでいるという関係を説明できていれば、その説明の2点は認めます。

8 図形の面積〔24点〕

(1) $8 \times 5 \div 2 = 20$ 答え : 20cm^2

(2) $7 \times 4 = 28$ 答え : 28cm^2

(3) $(3 + 7) \times 4 \div 2 = 20$ 答え : 20cm^2

(4) $8 \times 6 \div 2 = 24$ 答え : 24cm^2

(1) ~ (4) は各4点 (立式2点、数値1点、面積の単位1点)。

(2) の高さは4cm。斜めの辺を使った「 7×5 」は正しい立式として扱いません。

(5) 正しい。どちらも $6 \times 4 \div 2 = 12\text{cm}^2$ になるので、面積は同じです。

判断2点、正しい式2点、面積 12cm^2 に2点、両方に当てはまることを示せば2点。

この短い解答例で満点。「底辺と高さが等しい」という言葉や公式の重複記述は不要。

式がなく「底辺と高さが同じだから」とだけ説明した場合は、

判断2点と、両方に共通する条件の説明2点の計4点。

共通の採点方針・実施前の確認

- ・ 数学的な意味が同じ別解や表現を認めます。
- ・ 立式欄のある問題で正答だけの場合、立式・考え方の点は与えません。
- ・ 正しい立式のあとに計算間違いがあっても、立式の点は与えます。
- ・ 単位の点は数値と分けて採点します。ただし単位だけの答案には与えません。
- ・ 字の美しさや説明の長さは、算数の正誤の評価に含めません。
- ・ 学校の教科書・進度と照合し、未習事項がないことを確認してください。
- ・ 45分は目安です。このテストは記載した5分野のまとめです。